

- 問1 6世紀の東アジアにおいて、高句麗・新羅・百済の三国が勢力を争っていた時期に、朝鮮半島の国から日本の天皇へ釈迦の像や経典が贈られ、仏教が公に伝えられました。このとき、日本へ仏教を伝えた国はどこですか。 (2023年 福井県公立入試 類似)
1. 唐 2. 新羅 3. 百済 4. 高句麗
- 問2 7世紀後半の飛鳥時代において、壬申の乱という後継者争いに勝利して即位し、天皇中心の中央集権的な律令国家の建設を本格的に進めた人物は誰ですか。 (2017年 京都府公立入試 類似)
1. 天武天皇 2. 桓武天皇 3. 推古天皇 4. 聖武天皇
- 問3 飛鳥文化を代表する法隆寺の釈迦三尊像などの仏像が、この時期に数多く制作された背景について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2016年 和歌山県公立入試 類似)
1. 遣唐使によってもたらされた最新の密教を広めるため、貴族たちが山岳地帯の寺院に厳しい修行を行うための本尊を安置したため。
2. 戦乱や飢饉によって末法思想が広まり、死後の極楽浄土を願う貴族たちが、阿弥陀如来像を競って造立するようになったため。
3. 聖徳太子や蘇我氏が仏教を厚く保護し、大陸の進んだ文化を取り入れることで、仏教の教えに基づいた国づくりを目指したため。
4. 聖武天皇が国ごとに国分寺・国分尼寺を建立し、仏教の力で社会の不安や疫病を静めようとする鎮護国家の政策を進めたため。
- 問4 645年に始まった大化の改新を中臣鎌足とともに主導した中大兄皇子は、後に天皇として即位し、わが国初となる全国的な戸籍を作成するなどの政治改革を推進しました。この人物の名称として正しいものを選んでください。 (2018年 愛媛県公立入試 類似)
1. 桓武天皇 2. 天武天皇 3. 天智天皇 4. 聖徳太子
- 問5 日本最古の銅銭とされる「富本銭」に関する説明として、歴史的な背景や事実に基づいた適切な記述はどれですか。 (2023年 佐賀県公立入試 類似)
1. 平安時代に唐から輸入された貨幣をモデルにして、日本国内で初めて流通した鉄銭である。
2. 室町時代に足利義満が明との貿易を行うために、中国から輸入して国内の市で使用させた。
3. 天武天皇の時代に製造され、近年の遺跡調査によって和同開珎よりも古いことが確認された。
4. 元明天皇が平城京への遷都に合わせて発行し、役人の給与として初めて全国に普及した。
- 問6 8世紀初頭に大宝律令が制定された目的や、その後の社会の変化について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2020年 愛知県公立入試 類似)
1. 武士の台頭に対抗するため、貴族が土地を私有することを法的に認め、都の経済を安定させるため。
2. 地方の豪族に世襲の特権を強く認めることで、中央政府への不満を抑え、内乱を防ぐため。
3. 仏教を国教と定め、寺院が持つ強力な経済力や軍事力を国家の管理下に置くため。
4. 唐の優れた制度を取り入れることで、天皇を頂点とする官僚組織を整え、国家としての統治能力を高めるため。
- 問7 日本の歴史における時代区分と出来事の前後関係について説明した文として、最も適切なものを次のうちから1つ選びなさい。 (2021年 宮崎県公立入試 類似)
1. 鎌倉時代に平清盛が幕府を開き、その後、安土桃山時代にフビライ・ハンによる元寇が起こった。
2. 平安時代末期に平清盛が日宋貿易を推進し、その後、鎌倉時代にフビライ・ハン率いる元が日本へ押し寄せた。
3. 奈良時代に豊臣秀吉が太閤検地を行い、その後、安土桃山時代に平清盛が政権を握った。
4. 飛鳥時代にフビライ・ハンが来航し、その後、室町時代に平清盛が太政大臣に就任した。
- 問8 推古天皇の摂政として政治を行い、冠位十二階や十七条の憲法を制定した人物は誰ですか。この人物は遣隋使の派遣や法隆寺の建立も行い、天皇を中心とする国家体制の基礎を築きました。 (2016年 岐阜県公立入試 類似)
1. 中大兄皇子 2. 聖徳太子 3. 菅原道真 4. 小野妹子
- 問9 かつての都であった藤原京の跡地からは、多くの木簡が発見されています。その中には、現在の長野県にあたる地域から特産物が都まで運ばれたことを記したものがあり、地方まで中央の支配が及んでいたことが分かります。このような統治体制を確立させる契機となった出来事として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 愛知県公立入試 類似)
1. 墾田永年私財法が出されたことで、地方の有力者が独自に土地を開発し、都に献上する流れが加速した。
2. 大宝律令が制定され、全国を国・郡・里に分けて役人を派遣する律令国家の体制が整った。
3. 東大寺に大仏が造立されたことで、仏教の力によって地方の反乱を鎮める仕組みができた。
4. 冠位十二階の制度が整えられ、家柄にこだわらず才能のある人物を地方の役人に登用した。
- 問10 645年から始まった大化の改新において示された、それまで有力な豪族が私有していた土地や人民を、国家（天皇）が直接支配する体制へと改める方針を何といいますか。 (2021年 和歌山県公立入試 類似)
1. 地租改正 2. 版籍奉還 3. 公地公民 4. 墾田永年私財法
- 問11 大化の改新から始まった中央集権国家への移行は、701年の大宝律令の制定によって一つの完成を見た。この「律令国家」において、政治の基本的な仕組みとして導入された、土地と民衆を国家が直接支配する制度の考え方を何と呼ぶか。 (2018年 熊本県公立入試 類似)
1. 班田収授 2. 寄進地系荘園 3. 公地公民 4. 地租改正
- 問12 7世紀初頭の飛鳥時代に建立された、現存する世界最古の木造建築物として知られる、この時代の仏教文化を代表する寺院の名称を選びなさい。 (2018年 福岡県公立入試 類似)
1. 法隆寺 2. 平等院鳳凰堂 3. 東大寺 4. 延暦寺
- 問13 聖徳太子が行った政治改革のうち、「詔（天皇の命令）を承けては必ず謹め」といった記述が含まれ、仏教を敬うことや官吏（役人）が守るべき道徳を示したものはどれですか。 (2018年 大分県公立入試 類似)
1. 大宝律令 2. 冠位十二階 3. 十七条の憲法 4. 五箇条の御誓文
- 問14 大宝律令が制定されたことによる政治の変化について、その内容を正しく説明しているものはどれですか。 (2020年 東京都公立入試 類似)
1. 天皇の命令を文書にする役所や図書管理を行う役所が設置されるなど、大陸の進んだ政治制度が取り入れられた。
2. 武士が領地を支配する上での基準を示すため、裁判の公平さを期する仕組みが初めて全国的に整備された。
3. 室町幕府が新しい政治の方針を示すために、鎌倉時代の慣習を基にした独自の法典を定めた。
4. 氏姓制度を廃止し、地方の豪族が持っていた私有地と私有民をすべて国が直接支配する公地公民制が完了した。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 百済	仏教は6世紀（538年または552年説が有力）に、朝鮮半島の百済から日本の欽明天皇へと伝えられました。当時の朝鮮半島では三国が対立しており、百済は日本との外交関係を強めるために、当時大陸で広まっていた仏教を日本に紹介したという背景があります。
問2	答え 1 天武天皇	天武天皇は、大海人皇子として壬申の乱に勝利した後、強力な指導力を発揮して律令国家の土台を築きました。他の選択肢のうち、聖武天皇と桓武天皇は8世紀に活躍した天皇であり、推古天皇は7世紀前半の天皇です。
問3	答え 3 聖徳太子や蘇我氏が仏教を厚く保護し、大陸の進んだ文化を取り入れることで、仏教の教えに基づいた国づくりを目指したため。	飛鳥時代、推古天皇の摂政であった聖徳太子や有力貴族の蘇我氏は、外来の宗教である仏教を積極的に受容しました。彼らは寺院（氏寺）を建立し、優れた仏像を安置させることで、大陸の高度な技術や思想を背景とした統治を行おうとしました。聖武天皇の政策は「天平文化」、密教の普及は「平安時代初期」、末法思想や阿弥陀如来像の流行は「平安時代後期（国風文化）」の出来事です。
問4	答え 3 天智天皇	飛鳥時代、中大兄皇子は蘇我氏を打倒して大化の改新を断行しました。その後、天智天皇として即位すると、わが国最初の全国的な戸籍である「庚午年籍（こうごねんじやく）」を整備しました。これは、人民を国家が直接支配し、税の徴収を安定させるための重要な基盤となりました。
問5	答え 3 天武天皇の時代に製造され、近年の遺跡調査によって和同開珎よりも古いことが確認された。	飛鳥時代の天武天皇が「今より以後、必ず銅銭を用いよ」という詔（みことのり）を出した時期と重なる7世紀後半につくられました。1990年代に奈良県の飛鳥池遺跡から、鋳型などの製作道具とともに大量に発見されたことで、和同開珎よりも古いものであることが定説となりました。広く一般の市場で流通したというよりは、国家の威信を示す目的や儀式的な意味合いが強かったと推測されています。
問6	答え 4 唐の優れた制度を取り入れることで、天皇を頂点とする官僚組織を整え、国家としての統治能力を高めるため。	律令国家の建設は、大陸の先進的な統治システムを導入することで、バラバラだった国内勢力をまとめ上げ、対外的な独立を保つ狙いがありました。二官八省の官僚機構や戸籍の作成、班田収授法の実施などは、すべて天皇に権力を集中させ、安定した徴税を行うための仕組みです。
問7	答え 2 平安時代末期に平清盛が日宋貿易を推進し、その後、鎌倉時代にフビライ・ハン率いる元が日本へ押し寄せた。	平清盛は平安時代末期に太政大臣となり、大輪田泊を整備して日宋貿易を進めました。その後、鎌倉時代中期の13世紀後半に、元の皇帝フビライ・ハンによる元寇が起こりました。平清盛の政権獲得（平安時代末期）はフビライ・ハンの侵攻（鎌倉時代）よりも前の出来事となります。
問8	答え 2 聖徳太子	推古天皇を補佐する摂政という立場に就き、実力主義を取り入れた冠位十二階や、官吏としての心得を定めた十七条の憲法を制定しました。また、小野妹子らを遣隋使として派遣し、中国（隋）の進んだ制度や文化を取り入れることで、豪族中心の政治から天皇中心の政治へと改革を進めました。
問9	答え 2 大宝律令が制定され、全国を国・郡・里に分けて役人を派遣する律令国家の体制が整った。	藤原京は、大宝律令の制定前後における日本の首都であり、律令に基づいた計画的な都市造りが行われました。出土した木簡は、租・調・庸といった税制度を通じて、中央政府の権力が地方の隅々まで及んでいたことを示す実証的な資料となっています。
問10	答え 3 公地公民	大化の改新で出された「改新の詔（みことのり）」の第一条では、豪族が支配していた土地（田荘）や人民（部曲）を廃止し、すべてを国家のものとすることが宣言されました。これが公地公民の制であり、天皇を中心とする律令国家を目指すための重要な基盤となりました。
問11	答え 3 公地公民	大化の改新の詔（みことのり）で示された最も重要な方針が、それまで豪族が私有していた土地や民を国家のものとする「公地公民」である。この方針は壬申の乱を経て強化され、大宝律令に基づく戸籍の作成や班田収授法の実施によって具体化された。これにより、国家が民衆から直接税（租・庸・調）を徴収する仕組みが確立した。
問12	答え 1 法隆寺	飛鳥時代に聖徳太子（厩戸王）によって建立されたとされる寺院で、現存する世界最古の木造建築物としてユネスコの世界文化遺産にも登録されています。この時代の文化は飛鳥文化と呼ばれ、中国や朝鮮半島など大陸の技術や仏教の影響を強く受けているのが特徴です。
問13	答え 3 十七条の憲法	604年に制定された十七条の憲法は、日本最初の成文法としての性格を持ちますが、現代の法律とは異なり、役人が政治を行う上での「心得」を説いたものです。同じく聖徳太子の政策である冠位十二階は「個人の才能を評価する制度」であり、この憲法とあわせて天皇中心の政治を支える基盤となりました。
問14	答え 1 天皇の命令を文書にする役所や図書の管理を行う役所が設置されるなど、大陸の進んだ政治制度が取り入れられた。	大宝律令の制定により、唐の官制を模した二官八省という中央官庁の仕組みが整えられました。天皇の秘書的な役割を果たす役所（中務省）や図書を管理する役所（図書寮）などが置かれ、法に基づいた組織的な政治運営が行われるようになりました。